

中国最初の《哲學辭典》の語彙 —朝永三十郎編『哲學辭典』との比較を中心に—

藤本 健一 (大東文化大学外国語学部)

Philosophical Terms in the First “Zhexue Cidian” in China

Kenichi FUJIMOTO

はじめに

日中の語彙交流は一般生活の語彙から専門用語まで広く確認できる現象であるが、哲学分野の語彙に関しては管見にしてあまり論著を見たことがない。小稿では中国最初の哲学用語専門辞典と指摘されている樊炳清編《哲學辭典》(1926)と、その藍本と言われる朝永三十郎編『哲學辭典』の語彙を比較し、両者の類似性について初歩的な考察を加えたい。

1. 中国最初の哲学辞典

巢峰(2006)の《20世纪中国哲学辞书编纂出版回眸》は1900年代の哲学辞典の発展史を簡略にまとめており、その中で最も古い辞典として1926年に上海商務印書館から出版された樊炳清編の《哲學辭典》を挙げている。そして、王強強(2007)は樊炳清の翻訳の業績を紹介するとともに、《西洋哲學辭典》(1976)の序文を引用して樊氏の《哲學辭典》が中国最初の哲学専門辞書であるという見解を支持している。引用された《西洋哲學辭典》(1976)の序文には

五十年前的第一本中國哲學辭典……對我國學術界的貢獻可以說有口皆碑。……只可惜繼起無人，五十年以後的今日，我國哲學辭書還是只此一家，別無分設。

とあり、樊氏《哲學辭典》が中国最初の哲学辞典であると明言している。

また、顧燮光編《譯書經眼錄》、徐維則輯、顧燮光補《增版東西學書錄》(1902)、譚汝謙編《中國譯日本書綜合書目》(1980)等の図書目録にあたって、これ以前の哲学辞典を見つけられなかった。ただ、《新爾雅》(1903)や《普通百科新大詞典》(1911)のように哲学語彙を一部収録する辞典は既に刊行されていた。

2. 《哲學辭典》編者の樊炳清について

樊炳清は1877年に浙江山陰（現紹興）に生まれ、1928年から1929年の間に亡くなった。科挙の「秀才」として1898年に羅振玉創設の南洋公学東文学社で勉学に励み、藤田豊八と田岡佐代治から日本語、英語や近代科学を学んだ¹。南洋公学を卒業後も羅振玉のもとに残り《農学报》、《教育世界》などの編集を行う一方で、農務学堂と江蘇師範学堂で教鞭をとり翻訳編集を教えた。その前後で南洋公学訳書院と江楚編訳官書局で翻訳の業務に携わったこともあり、哲学書では井上哲次郎の『倫理学教科書』を漢訳している。辛亥革命の際には蔡元培が主管する教育部に短期間勤務し、後に教科書類、《辞源》（正續編）、《古今人名辭典》、《四部叢刊》などの編集にも尽力している。1920年頃から4年の歳月を費やして《哲學辭典》を完成させ1926年に出版された。

3. 《哲學辭典》の評価

樊氏《哲學辭典》を蔡元培と唐鉞は以下のように評価している。蔡元培の序には、

哲學著作中往往同一詞，而用之者幾乎一人一義，十人十義，令人迷離恍惚，莫知其真意之所在。哲學辭典者，網羅哲學上之名辭，列其歧義，載其沿革，使學者知各辭隨人隨時隨學派隨科目而異之意蘊者也。……此書網羅西洋哲學名辭甚夥，每詞下附有英德法三國文字，譯名多取通行者，雖未敢謂悉臻妥洽，然讀其註釋，可知原文之意義；其有西文一名而中文異譯者，釋文中也備列之。其為用書者計，可謂周至。

とあり、該書の特徴と利便性を高く評価した。唐鉞の序は哲学辞典に釈義と語源についての解説が必要であることを指摘した上で、“樊先生編の這部辭典，恰恰是應這種向來無法滿足的需要的”と述べて、

雖然他的這部書並不是一冊極豐富極廣博的哲學辭典，但在冊子這樣大的書的範圍內，是一部普通適用的書，是一部難得的來得湊巧的貢獻。

とも続けた。

《西洋哲學辭典》の序文は再度引用しないが、王強強（2007）が“十年重印四版，在旧中国影响颇大，解放后一些书店亦有售品，60年代台湾启明书店曾翻印，题为《哲学大辞典》”とも指摘しているところを考え合わせると、出版直後は勿論のこと、その後40年余り非常に影響力を持っていたと分かる。

¹ さねとう・けいしゅう『中国人日本留学史』（くろしお出版、1960年、259頁）は「樊炳清が中国人としてのさいしょの日本書翻訳者であること、かれは日本に留学したのではなく、中国にいて日本人（藤田豊八）から日本語をまなんだのである」と指摘しているが、田正平『留学生与中国教育近代化』（广东教育出版社、1996）は樊氏が日本留学の経験者であると指摘している。

4. 《哲學辭典》の語彙

該書は哲学用語1241語と哲学に関連する人名など541語、合わせて1782語を見出しとしている²。そのうち「同～」(103例³)、「関～」(20例)、「見～」(10例)、「即～」(4例)、「解在～」(1例)のように釈義を他の見出し語に譲るもの138語⁴ある。

蔡元培の序文にもあるように見出し語にはそれぞれラテン語、英語、ドイツ語、フランス語の対訳語が注記されているが、4ヶ国語全て揃っていることもあれば1ヶ国語のみの場合や外国語の注記がない⁵こともある。また「西文名詞検査表」と「西文人名検査表」を巻末附録にしている。

樊氏辞典の藍本について、陈应年(2003)と张法(2010)は“根据日文、英文资料编著”と主張し、王強強(2007)は“以日本朝永十三郎⁶《哲学辞典》为蓝本，编写出中国近现代首部《哲学辞典》”と言及するものの、いずれも根拠を提示していない。小稿は王強強(2007)の指摘を受ける形で朝永氏『哲學辭典』が藍本である可能性について語彙面から関連性を考察したい。

5. 朝永三十郎編『哲學辭典』との比較

朝永氏編集の『哲學辭典』は1905年に初版が刊行され、1919年には「増訂八版」が発行された。朝永氏辞典は豊富な哲学用語を詳細に解説しているものの、その大半をカタカナ語と混種語(カタカナ+漢字)が占めており、漢字語に限定すると索引に掲載しているのは1524語となる。

まず、樊氏と朝永氏の辞典で一致するのは450語で、哲学用語1241語の36%を占めている。その全数を列挙する。

1字語(5語): 格 善 德 神 罪

2字(198語): 人格 中庸 内包 内省 公理 公教 化身 反省 反對 天啟 幻覺 心靈
主型 主德 主辭 主觀 他律 代贖 功德 本能 本務 本質 正義 生成 充實 再生
再現 印象 同一 妄想 回教 回想 多義 考察 自由 自因 自律 自覺 色盲 行為

² 索引および本文に「實踐的神學」が重複して収載される一方で「精神物理學」は索引から漏れている。

³ 「同上」2例を含む。

⁴ それは「人生哲學、力本說、十字分類、大前提、小前提、内包、内學、公眾善、分釋、分量的快樂說、反對對當、天眼通、心理學派、犬儒學派、主理論、外圍、外學、必至論、生成、生機主義、矛盾對當、示現說、立證、先驗的、共變法、再生、再現說、再說原理、合宜主義、合理的功利說、好辦學派、多問症、自覺、自利說、自然神論、行為者、作用、利己主義、含蓄哲學、完善、成素、決定論、究理學派、制約哲學、定位、定業論、性癖、形質的快樂說、明極論、物如、直觀、直言的、信念派、型念、思考、拜物教、後件、洞觀、原素、原罪、特殊造化說、真在、神正論、神智教、純美、訓育、區分、偏理論、副意識、唯象論、唯用主義、啟示、基本要求、救世主義、理念、理想化、終末論、逍遙學派、單元、悲觀說、惡魔論、渾體推理、無上命法、絕待、意向論、意匠論、意志自由論、愛他主義、感情移入、構想、準則、經院哲學、義務、萬有神教、萬有精神論、隔世遺傳、實在、實際主義、對位概念、監護學、複證式、價值哲學、審美學、摩門教、標象主義、樣態說、潛勢、潛意識、繚延、機會說、歷程、積極論、積疊法、豫定論、輪感、默示、應化、斷定、斷言的、歸結、轉心、鎮魂說、識性、關心、關係闕、關係性法則、離接、類化、類比、覺闕、續覺、續生說、權現、變質說、顯勢、體覺、體制的、靈智教」である。

⁵ 見出し語のみで意味注釈をしない語彙以外に「定立、景教、崑術」は対訳語を載せないが、「定立」は解説文に英語が使われている。

⁶ 原文のまま。「朝永三十郎」の誤植だと思われる。

否德 完成 形式 形因 志向 忘我 抑鬱 改格 更生 系統 把住 呪物 邪慾 制約
命題 定立 幸福 性向 性癖 抽象 注意 物如 物質 直覺 直觀 知識 知覺 俗見
保存 信念 前提 客觀 思辨 洞觀 相制 科學 美術 美魂 表象 原理 原罪 哲學
悟性 格率 氣質 秘教 神政 神話 神學 神權 素質 純粹 能力 記憶 健忘 偶性
偶像 動因 動作 動能 動機 啟示 啟蒙 執意 基督 冥想 宿罪 崇拜 崇敬 常識
情緒 情操 情調 推理 措定 救濟 混沌 現象 理性 理法 異教 異端 組織 規範
單元 惡意 换位 換質 溫點 無知 無記 無極 筋覺 絕待 絕對 結論 統覺 補色
圓極 圓滿 想化 想像 意志 感官 感性 感情 感覺 新教 暗示 滑稽 精神 義務
聖靈 與件 實有 實在 實驗 實體 對比 對象 對當 睿智 認識 賓辭 領會 德論
概念 潛勢 節制 範疇 衝動 論證 質因 輪迴 醇化 遺像 錯稱 錯覺 默示 應化
環象 擴充 斷定 斷案 歸納 歸結 禮拜 轉化 轉生 繫辭 藝術 屬性 續覺 贖罪
顯勢 靈魂 觀念 觀察

3 字 (142 語): 一元論 一神教 二元教 二元論 二重體 人道教 三一神 大宇宙 大前提
小宇宙 小前提 不動心 內省法 公眾善 分明的 反對色 手相術 方法論 比量的 主我
說 主知說 主理論 主情說 主意說 主觀說 功利說 半意識 失用症 失語症 必至論
必然性 本務論 本體論 目的論 矛盾律 先天的 先天論 名目論 多元論 多血質 宇宙
論 收得的 有神教 有機的 有機體 死靈說 自目的 自同律 自然智 自暗示 行為者
多神教 伴差法 利他說 完成說 快樂說 折衷說 改善觀 決定論 兩分法 具象的 定言
的 定命論 幸福說 明極論 物活論 物理學 直言的 直覺說 知識論 契合法 客觀說
指南力 拜火教 拜物教 後天的 流出說 相制說 相對我 相對律 原子論 差異法 神統
記 神話說 假言的 偶然的 偶然論 偶像教 動作者 唯心論 唯物論 基督論 教父學
救世主 救濟論 混合說 現象論 現實性 現實說 理神論 創造說 單子論 單元論 悲觀
說 最高善 無神論 猶太教 虛無論 超絕的 超絕論 催眠術 感覺論 精靈說 經驗論
道德官 實在論 實念論 實踐的 實體論 實證論 舞蹈病 認識論 憂鬱質 概念論 樂天
觀 機械的 機械論 機會說 歷史觀 積極的 積極論 豫定論 辨證法 連鎖法 講義術
護教論 魔憑狂 竊盜狂 體制的 靈物學 靈魂說 觀念論

4 字 (79 語): 一般感覺 一般觀念 二律背反 人文主義 人為淘汰 三位一體 三段論法 不
可知論 內在哲學 反射運動 反對對當 反應時間 心理學派 犬儒學派 外延內包 生得觀
念 矛盾對當 交互作用 交代神教 印象主義 同一哲學 同本質說 有生起原 有情滑稽
有機感覺 自我實現 自然宗教 自然神論 自然神學 自然哲學 自然崇拜 自然主義 含蓄
哲學 形而上學 究理學派 系統發生 兩刀命題 兩刀論法 抽象觀念 注意減弱 直言命令
知的直觀 非正統說 非多神論 非定命論 非物質論 非擬人說 信仰哲學 思辨哲學 耶穌
基督 個性原理 個體發生 特殊勢力 純正哲學 純粹形相 假言命令 動物神教 動物崇拜
寂靜主義 教父哲學 理性觀念 理想主義 異種感覺 第一物性 第一哲學 第二物性 普通
感覺 最大幸福 無宇宙論 新批判說 煩瑣哲學 萬有神教 運動失調 魂魄崇拜 蒙昧主義

寫實主義 豫定調和 藝術衝動 竊取論點

5字(18語): 本能的道德 自動的動作 我思故我在 法利賽主義 苦快的美學 個性心理學 特殊造化説 神人同形説 神人同情説 意志自由論 意識一元論 感性運動的 道德的神學 實踐的神學 曖昧二元論 構音不能症 擴充的斷定 觀念運動的

6字(8語): 公眾的快樂説 分量的快樂説 生物學的比論 自然的實在論 個人的快樂説 實在的觀念論 樸素的實在論 觀念的實在論

この割合は低くないが、藍本というには説得力に欠けるようにも思われる。しかし、樊氏が辞典編纂に際して中国語で一般に通用していた既存の哲学用語に置き換えた可能性も考えられるため、次に同一概念だが両書で異なる用語を収載する例を見る。

まず、対応する語彙が同じ字数かつ同義語を使用した例。以下、「朝永氏／樊氏」の順に挙例する。

知慧／智慧 神託／神託 連座／連坐 刺激／刺戟 刺激闕／刺戟闕 汎心論／泛心論 汎神論／泛神論 汎理論／泛理論 汎意論／泛意論 汎靈論／泛靈論 禁慾主義／禁欲主義

ここに挙げた知と智、託と託、座と坐、激と戟、汎と泛、慾と欲はいずれも相通じる語義を具えており、どちらを選択するかは使用者の言語習慣によるところが大きいだろう。

次に、対応する語彙が同じ字数で近似表現を使用した例である。

寒點／冷點 勇氣／勇敢 神惠／神寵 喪心／懊喪 謬論／偽論 形式説／形式論 結果説／結果論 唯理説／唯理論 獨斷説／獨斷論 絕對説／絕對論 原因學／原因論 活力説／活力論 唯我説／唯我論 懷疑説／懷疑論 厭世説／厭世觀 動學説／動學觀 目的説／目的觀 心理説／心理派 造成説／造化説 穿鑿狂／穿鑿症 世末學／末世論 無上命令／無上命法 一般概念／普遍概念 一般名詞／普遍名辭 分析斷定／分析判斷 總合斷定／綜合判斷 聖書神學／聖經神學 一牀兩面説／一體兩面論 宇宙開闢論／宇宙開闢説 經驗批評説／經驗批判論 有意的行動／有意的動作 聖書心理學／聖經心理學 宇宙論的證明／宇宙論的立證

例えば、寒と冷、謬と偽、～説と～論、～狂と～症、普遍と一般、斷定と判斷、書と經などは確かに類似したニュアンスは持ち合わせているが、語用面では区別されるべきであろう。この相違は日中語義の異なりに由来するものなのか、日本語語彙を避ける意図から樊氏が取えて異なる語彙を使用したのかは今後の研究で検討していきたい。

ほかに両書で対応する語彙でありながら字数が異なる例もある。先に朝永氏に比べ樊氏が簡潔な表現を使用した例を示す。

演繹法／演繹 七賢人／七賢 究竟因／究因 溫度感覺／溫度覺 均衡感覺／均衡覺 遺感覺／遺感 不均齊體／不均齊 祖先崇拜／祖先教 規範的科學／規範學 美的標準／美準 消極的感覚／消極感覺 精神物理的並行説／精神物理平行説 基督單意説／單意説 基督兩性論者／兩性論者 至高善／完善

樊氏が簡略な表現を使用し、後発の辞典としては理想的な方向に進んでいると考えられる。また、この挙例のみでは樊氏が接尾辞「～的」を避ける傾向が確認されるが、実際には「後天的、知的

直観、實踐の神學、觀念的實在論、美的態度、形式的偽論、人格的唯心論」など朝永氏の用語と一致する語彙や相違する語彙も含めて多数の用例があるため、軽率には判断できない。

一方で樊氏は朝永氏よりやや長い文字数の哲学用語を使用することもある。その例は次の通りである。

内在／内在性 常識派／常識學派 詭辯派／詭辯學派 逍遙派／逍遙學派 散步派／散策學派
愛他説／愛他主義 神秘説／神秘主義 直観説／直観主義 超自然説／超自然主義 説明斷定
／説明的斷定 蘇國派／蘇格蘭學派 蘇國哲學／蘇格蘭哲學

朝永氏辞典を藍本としていたのなら両者の相違については相応の理由があると推察されるものの、民国期までに使用されてきた用語を整理していない現段階では常用の語彙を優先したのかどうかは判断できない。ただ、「～派」より「～學派」で4音節語の方が中国語として座りが良いことは言えそうである。蘇國と蘇格蘭は「蘇國」という略称ではなく、「蘇格蘭」と音訳語を使用している。

この他に中日の語彙だけでは同一概念であるか判断に苦慮する語も多く、両書で注記された英語を頼りに同一概念語を挙げる。以下、「樊氏—朝永氏」の順に示す⁷。

Atavism 返初—間歇遺傳 Canonization 列聖式—推尊式 Congenital 固有的一—生得的、天賦的
Demerit 過失—罪過、否德、失德 Demonology 精靈論—鬼神學 Distribution 周延—擴充
Dogmatics 宗義學—教理論 Dyothelism 複意説—基督兩意説 Embryology 胚胎學—發生學
Epicheirema 帶證法、牽強推理、渾體推理、複證式—牽強三段論法、理由付き前提の三段論法
Episylogism 歇前推理—歇前三段論法 Eschatology 終末論—世末學 Ethics 倫理學—精神科學、心意科學
Excitation 興奮—刺激作用 Fallacies of composition and division 離合謬論—離合の偽推論、似而非推論
Paralogism 詭論—論過 Passion 激情—情性 Pietism 信念派、敬虔派—虔信主義 Postulate 公準、基準、基本要求—要求假定 Prosylylogism 斷後推理—斷後三段論法
Shamanism 邪門教—魔術教 Unitarianism 唯一論—主義

また、カタカナ語や混種語との対応関係も判明したものもあり、次に挙例する。

Academy 阿加的米學派—アカデミー學派 Adaptation 適應—オーガスティン Aeon 阿翁—アイオン—、アエ—オーン
Alexandrian school 亞歷山大里亞學派—アレクサンドリア學派 Arche 元始—アルケー Arianism 亞利約説—アリウス説、アライオス説 Ataraxy,ataraxia 無感—アタラクシア
Cambridge platonists 康勃利治柏拉圖派—ケンブリッジのプラトーン學派 Chynic,cynicism 昔尼克學派—キニーック學徒、キニーック學派
Coran 可蘭—コーラン Cyrenaic school,cyrenaics 施勒尼學派—キレーネ學派 Demiurge 造化—デーミウルゴス Docetism 幻影説、示現説—ドケテー説、基督假幻説、基督如幻説⁸
Dominicans 度明哥派—ドミニック教徒 Donatists 多那忒派—ドナティスト、ドナートゥス教徒 Encyclohaedists 百科

⁷ なお、「天賦説—先天論、生氣主義—魂魄崇拜、生機主義—活力説、立證—論證、判斷—斷定、勢用—顯勢、萬有精神論—汎心論、優美—神惠、神話學—神話」は朝永氏の用語は掲出済みで、かつ両者の相違も確認できるためこの一覧に入れていない。

⁸ Docetism と Logos には朝永氏にはそれぞれ漢字語をあてているが、それは解説においてであり、見出しはカタカナ語を用いている。

學者—アンシクロペディスト Eros 慕想—エロース Essenes 以撒尼派—エッセネ Eusebians 歐斯比派—オイセビウス派 Fechner's law 費希奈爾律—フェヒネルの法則 Franciscans 方濟各派—フランツィス教徒、フランシスカン教徒 Henotheism 單一神教—ヘノセイズム Jansenism 冉森主義—ヤンゼン説 Jesuitism 耶穌社主義—エスイット主義、ジェスイット主義 Logos 選各斯—ロゴス、理性、理躰 Lutheranism 路得教—ルーテル教 Manicheism 摩尼教—マニハエウス教、マニー教 Megaric school—メガラ學派、好辦學派—メガラ學派 Neo-platonism 新柏拉圖學派—新プラトーン説 Neo-pythagoreanism 新畢達哥拉斯説—新ピュタゴラス説 Panentheism 萬有在神論—パンエンテイスムス Pelagianism 披雷傑説—ペラギウス説 Pyrrhonism 比羅説—ピローン説、ピュルローン説 Sabellianism 薩伯利説—サベリウス説、三位變態説 Sadduceeism 撒都該主義—サドカイ主義 Scotism 司各脫斯説—スコートゥス説 Semi-pelagianism 半披雷傑説—半ペラギウス説 Thomism 多馬説—トーマス説 Weber's law 范白爾律—ウェーベルの法則

以上の比較により樊氏辭典が収録する1241語中の598語は朝永氏辭典と何らかの対応関係にあることを突き止めた。このほか樊氏辭典の用語で朝永氏と対応する語彙がなかった643語を以下に示す。

1字語 (2語) : 美 惡

2字語 (232語) : 七術 大衛 中保 內學 公德 分化 分類 分釋 反覆 天才 心盲 心情 心象 心境 心聲 比例 比照 比論 外圍 外學 平等 乩術 光覺 再認 合法 同化 同情 好奇 好意 宇宙 早熟 自然 至善 色覺 低能 作用 作業 冷色 努斯 否定 延長 形質 形像 成素 投射 沈靜 決意 材質 材能 私德 良心 並存 事象 制裁 呼應 味覺 奇蹟 官能 定位 定理 定義 波動 知性 社會 空虛 肯定 非我 型念 型範 思考 思維 思慮 恒常 持續 後件 洽善 祆教 美學 苦痛 表出 表情 要素 重覺 面相 修養 倒錯 原人 原色 原素 書瘞 特質 疲勞 痕官 真在 真理 破門 畔離 神來 神經 純我 純美 能媒 能量 訓育 訓練 追想 追感 逆證 匿狂 區分 假定 假象 假感 偏向 密儀 崇高 張弛 強注 情事 推量 捨象 教化 教社 教育 教權 欲望 混色 理由 理念 理想 異化 移感 習俗 習慣 術語 規定 責任 責務 透視 造類 連續 部分 善美 悲壯 換主 景教 期待 溫色 痛覺 發動 視野 視覺 象徵 傾向 勢能 嗅覺 意識 感化 構想 準則 畸形 稱義 經驗 聖物 躰覺 試驗 運動 過程 國境 道念 道德 隔感 實現 對照 對稱 圖型 圖騰 團體 滿足 福音 福善 複化 說明 銘記 模倣 樣態 確性 縣延 練習 膚覺 興味 調和 趣味 機能 歷程 激感 豫想 輪感 選言 遺傳 錯感 優越 壓覺 擬人 臆説 聯合 趨異 儲能 轉心 識性 識野 關心 離接 類化 類比 類似 繼起 覺界 覺野 覺圈 覺闕 觸野 觸覺 躁揚 攝理 蠟版 魔術 權現 疊語 聽覺 變化 體覺

3字語 (201語) : 人本説 人相學 人差律 人種學 人類學 力本説 十句義 卜徵術 三世説 下意識 土俗學 大觀念 小概念 中概念 化體説 天使論 天眼通 心理學 心靈論 文獻學 世界觀 主美説 主宰説 主德説 加巴拉 占星學 可型性 可能性 可想的 失容症

平行說 斥中律 永恆性 生態學 目的系 立言論 先驗的 共力說 共感覺 共運動 共變法 再現說 印象法 合律性 合理的 同仁會 因果律 因果態 多問症 多靈教 自反語 自由美 自利說 自動的 自動說 自然法 自然美 位置覺 妥當性 形式觀 快不快 批判論 投觀的 決疑學 亞吠陶 兩極性 受感性 呪物教 宗教學 定業論 拒絕症 明暗覺 枚舉法 物自身 社交性 社會我 社會性 社會學 空間覺 長老會 信條學 前生說 屋肯說 派生的 相對論 省除法 耶和華 背證法 表出法 表象說 修道院 個性差 個體論 時間覺 殊多性 浸禮會 消極論 特性美 神正論 神智教 神經學 粗滑覺 迷想論 骨相學 偏理論 偶因論 副用語 副意識 乘除法 動機論 唯象論 問答書 宿命論 強記術 接神教 教育學 教授論 救世軍 朗吉那 清教徒 添質說 牽引覺 現象學 理想化 第一因 終極性 羞癢覺 博物學 惡魔論 普徧論 晚餐式 測定法 無意識 猶子說 絕對我 結象級 統計法 進化論 開展說 黃金率 傳殖說 傾向說 意向論 意匠論 意識流 感應性 感覺型 管理論 精神病 聖經學 運動型 運動覺 疑懼症 監護學 蓋然性 蓋然論 語言學 說教學 齊一論 價值說 審美學 寫波器 摩門教 概念史 模倣說 樣態說 潛意識 調整的 論理的 論理學 質問法 養護論 凝視點 積疊法 豫言者 辨別闕 辨神論 錯語症 靜觀性 彌賽亞 膽汁質 鍊金術 黏液質 斷言的 鎮魂說 藝術美 關係闕 關節覺 續生說 襯證法 變形法 變質者 變質說 變態論 體系論 靈智教 觀心術 觀念力 觀念學 經驗派 合理派

4 字語 (142 語)：一性論者 人生主義 人生哲學 人格主義 人體測定 十字分類 三一論者 中世哲學 反省哲學 反對歸一 天然淘汰 心理零點 文藝復興 比尼狄派 世界精神 半康德派 古典主義 必無過說 正統主義 永續創造 玄祕主義 生生主義 生命哲學 生理淘汰 交叉分類 交叉教育 全稱判斷 共同生活 再生表象 再說原理 合宜主義 同類意識 多因一果 多馬學派 多能統一 色情倒錯 色情障礙 西利埃訥 利己主義 努力之感 局部徵驗 希臘主義 成立宗教 折衷學派 改正教會 並位概念 兒童研究 兩重人格 制止作用 制約哲學 宗教哲學 所動主義 朋友教徒 泛愛主義 直接推理 直觀形式 知能測定 社會主義 社會哲學 非三一派 便宜主義 前件後件 思考原理 思辨美學 活動主義 皆盡分法 省略推理 約復原理 美的態度 個人主義 哲學論法 哲學概論 時代精神 浪漫主義 消極概念 特稱判斷 純粹持續 純粹經驗 唯用主義 唯物史觀 基本哲學 康德學派 強迫觀念 情調障礙 教權主義 救世主義 條件哲學 現代主義 現實哲學 第一物質 第一原理 組織神學 通性原理 通俗哲學 連接推理 單義名辭 單稱判斷 循環定義 循環設證 無無生有 為知故信 等價概念 補助定理 象徵主義 越山主義 集合意志 集合意識 傳承學派 意志哲學 感性障礙 感情美學 感情移入 新教哲學 新康德派 精神失常 經院哲學 經濟原理 群眾心理 遊戲衝動 道德哲學 隔世遺傳 雌雄淘汰 實用主義 實際主義 實證論派 實踐理性 實踐哲學 對位概念 監督制度 福音主義 綜合哲學 總要學派 價值哲學 標象主義 歐拉圖解 潛伏時間 學術體系 擇別動作 歷史哲學 諾斯士派 懷疑學派 嚴肅主義

5 字語 (45 語)：不合理故信 末日聖徒會 本體論主義 生物測定學 生物發生律 生理的單位

伊利亞學派 共活同胞社 安提阿學派 米利都學派 西士忒興派 含蓄二元論 希伯來法典
 形式的偽論 兩重二元論 知覺之預料 社會心理學 社會契約說 契差兼用法 美以美教會
 俾贊廷主義 埃理亞學派 笛卡兒學派 符號論理學 設若二元論 斯多噶學派 最小可知差
 無意識哲學 黑智爾學派 愛奧尼學派 構音不正症 新人文主義 新多馬學派 新達爾文說
 精神複合說 經驗之比論 道德的立證 實驗心理學 辨證的偽論 聯想心理學 歸納的偽論
 聶斯托良派 關係性法則 變態心理學 精神物理學
 6 字語 (18 語) : 人格的唯心論 小蘇格拉底派 巴士利巴斯派 本體論的立證 伊壁鳩魯學派 合
 理的功利說 形質的快樂說 唯理的實在論 符號的擬人說 無物相同原理 超越的綜合論 意
 匠論的立證 新斯賓挪莎說 經驗的心理學 疑問的觀念論 赫爾伯特學派 摩拉維亞教會 數
 學的實在論

7 字語 (3 語) : 充足理由之原理 形而上學否認者 進化論的快樂說

上掲語彙については中国の哲学界で一般に使われていたと推察されるが、樊氏辞典に収載された経緯は明らかではない。陈应年 (2003) と张法 (2010) の指摘通りであれば英語資料を参照し、そこから収載に至ったということだが、その資料とは哲学辞典なのか、哲学書なのか、あるいは中国語訳版の著作なのかなど詳細は分かりかねる。今後の課題としたい。

まとめ

樊氏と朝永氏の哲学辞典は 598 語の同一概念語を収録し、樊氏の哲学用語 1241 語と完全に一致する語彙は 450 語で 36% に当たる。このことから樊氏は辞書編纂に際して朝永氏の『哲學辭典』を参考書のひとつとしていたと判断できる。王強強 (2007) の言う “以日本朝永十三郎《哲学辞典》为藍本” とは最も有力な参考書のひとつと理解すべきだろう。

なお、樊氏辞典にのみ収録された「刺戟、唯理論、逍遙學派、勇敢、演繹」などは、日本語文献の『哲學字彙』(1881、1884、1912)、『新爾雅』(1903)、『普通百科新大詞典』(1911) や顔惠慶《英華大辭典 1908》、赫美玲《英漢字典》(1916) などの英華辞典にも収録されている語彙で、このことから樊氏は次の文献を参照した可能性が考えられる。(1) 日本語の近代哲学関連資料、(2) 百科事典の性質をもつ工具書、(3) 英華辞典類、(4) 中国の近代哲学書など。樊氏が辞典編纂で参照した文献については引き続き考察していきたい。

余論

樊氏の《哲學辭典》が当時かなり普及していたことはすでに上述したが、哲学用語に与えた影響としては《近現代辭源》(2010) の収録語からも窺い知れる。《近現代辭源》は樊氏辞典に収録された 218 語を載せており、そのうち朝永氏辞典と一致する語は次の 105 語である。

格 暗示 本能 本質 表象 補色 常識 衝動 抽象 錯覺 單元 動機 動能 對比 對

象 反對 反省 範疇 概念 感官 感情 感覺 感性 公理 觀念 規範 歸納 幻覺 結
論 精神 絕對 考察 科學 客觀 禮拜 理性 美術 命題 默示 啟示 氣質 前提 情
緒 情操 人格 認識 色盲 神話 神學 神權 生成 實驗 思辨 素質 屬性 他律 推
理 物質 系統 現象 新教 行為 形式 義務 藝術 印象 原理 原罪 再生 再現 哲
學 知識 知覺 直觀 直覺 主觀 自覺 自由 組織 拜火教 必然性 催眠術 大前提
多神教 二元論 方法論 機械論 救世主 歷史觀 矛盾律 認識論 唯心論 唯物論 無神
論 物理學 小前提 一元論 一神教 猶太教 有機體 不可知論 煩瑣哲學 人文主義 三
位一體 形而上學

樊氏辭典のみに見られる語は 113 語ある。

美 比例 表情 波動 部分 材質 持續 觸覺 低能 定理 定位 定義 對稱 對照 發
動 分化 否定 福音 構想 關心 官能 規定 國境 過程 合法 機能 基準 激情 畸
形 假定 假象 教育 經驗 肯定 類比 冷色 理想 聯合 美學 魔術 能量 擬人 判
斷 偏向 平等 傾向 色覺 社會 神經 實現 勢能 試驗 適應 視野 術語 思考 思
維 特質 聽覺 同化 痛覺 投射 透視 圖騰 團體 外圍 味覺 興奮 嗅覺 演繹 要
素 遺傳 意識 優越 宇宙 欲望 原人 原色 運動 早熟 責任 真理 制裁 作用 作
業 泛神論 蓋然性 教育學 進化論 精神病 倫理學 論理學 潛意識 人類學 社會學
生態學 宿命論 無意識 下意識 相對論 心理學 修道院 耶和華 語言學 個人主義 經
院哲學 浪漫主義 利己主義 社會主義 唯物史觀 文藝復興 直接推理 實驗心理學

【参考文献】

- 朝永三十郎 1905 初版『哲學辭典』東京寶文館 (1919 年增訂八版)
樊炳清編 1926 初版《哲學辭典》上海商務印書館 (1930 年再版)
布魯格編著、項退結編譯 1976《西洋哲學辭典》國立編譯館、先知出版社
譚汝謙主編 1980《中國譯日本書綜合書目》香港中文大学出版社
王韜、顧燮光等編 2003《近代譯書目》北京圖書館出版社
熊月之主編 2007《晚清新學書目提要》上海書店出版社
陈应年 2003《樊炳清与哲学辞典》《百家书话·出版史料》2003 年第 2 期
巢峰 2006《20 世纪中国哲学辞书编纂出版回眸》
王强强 2007《樊炳清及其译介运动中的译书》《甘肃联合大学学报 (社会科学版)》第 23 卷第 3 期
张法 2010《哲学辞典与中国现代哲学语汇的定型——中国现代哲学语汇的缘起与定型研究之五》《阅
江学刊》2010 年第 4 期
黄河清编著 2010《近现代辞源》上海辞书出版社
データベース：中央研究院近代史研究所「英華字典」([http://mhdb.mh.sinica.edu.tw/dictionary/
index.php](http://mhdb.mh.sinica.edu.tw/dictionary/index.php))

(2017 年 9 月 29 日受理)